

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年10月28日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(5日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	結城市	代表者名	小林 栄
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0296-34-0436
担当者役職	行政経営係長	担当者氏名	湯山 友和
住所	307-8501 茨城県結城市中央町二丁目3番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	前回の支援で行政改革大綱アクションプランの見直しの方向性を助言いただいた。その結果、行政改革大綱アクションプランの関連文書として、市のDXビジョンを作成することになり、それを「結城市DX推進基本方針」として取りまとめることができたため。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月28日	9時00分	9時50分		50
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	庁内に、デジタル化に関する技術に関心のある職員が少ない。また、それらの技術を活用した業務改善の事例も少ない状況にある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	デジタル化に関する職員の意識啓発。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	前回の支援で行政改革大綱アクションプランの見直しの方向性を助言いただいた。その結果、行政改革大綱アクションプランの関連文書として、市のDXビジョンを作成することになった。市のDXビジョン(「結城市DX推進基本方針」)の素案を提出し、内容や今後のDXの推進方法について助言をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	結城市DX推進基本方針を取りまとめることができた。また、基本方針のもと組織するプロジェクトチームの今後の進め方について助言をいただいた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
	結城市DX推進基本方針(案)	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	プロジェクトチームの立ち上げ。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 打ち合わせのため実施していない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	デジタル化に関する技術を活用した業務改善提案が原課から出てくること。そのようにする意識啓発や気運醸成。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

